

# 公 聴 会

日 時 令和5年6月30日(金)  
10時00分～10時30分

場 所 高松市番町四丁目1番10号  
県庁本館12階 第1・2会議室

公聴すべき案件

海区漁場計画の作成について

## 公 示

下記のとおり、漁業法第 64 条第 5 項の規定に基づき海区漁場計画に関する公聴会及び第 396 回香川海区漁業調整委員会を開催する。

令和 5 年 6 月 23 日

香川海区漁業調整委員会

会長 北 尾 登 史 郎

### 記

(公聴会)

1. 年 月 日            令和 5 年 6 月 30 日 (金)  
                         午前 10 時 00 分～10 時 30 分
2. 場            所            高松市番町四丁目 1 番 10 号  
                         県庁本館 12 階 第 1・2 会議室
3. 公聴すべき案件  
    1) 海区漁場計画の作成について
4. 公述の申し込み  
    公聴会において意見を述べようとする者(公述者)は、所属、氏名、及び発言内容の要旨を文書で令和 5 年 6 月 28 日(水)までに当委員会事務局へ提出してください。
5. 公述者の範囲
  - 1 漁業権者
  - 2 入漁権者
  - 3 漁業権漁業の経営者
  - 4 漁業協同組合関係者
  - 5 その他利害関係のある者

注) 上記案件(海区漁場計画の内容)については、地元の各漁業協同組合事務所、市役所、町役場、香川県農政水産部水産課及び同課内の香川海区漁業調整委員会事務局のうち、最寄りの場所で問合せ又は閲覧されたい。

(委員会)

1. 年 月 日      令和5年6月30日(金)  
                         午前10時30分～11時00分  
                         (公聴会の状況によって開始時間が早まる可能性があります。)

2. 場 所      同 上

3. 議 題

- 1) 海区漁場計画の作成について(諮問)
- 2) 新たな資源管理の進捗状況について(報告)
- 3) その他

第 396 回 香川海区漁業調整委員会次第

日 時 令和 5 年 6 月 30 日 (金)  
10 時 30 分～11 時 00 分

場 所 高松市番町四丁目 1 番 10 号  
県庁本館 12 階 第 1・2 会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議事録署名人の指名

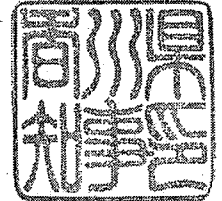
4. 議 題

- 1) 海区漁場計画の作成について (諮問)
- 2) 新たな資源管理の進捗状況について (報告)
- 3) その他

5 水産第 5 1 7 3 7 号  
令和 5 年 5 月 2 9 日

香川海区漁業調整委員会  
会長 北尾登史郎様

香川県知事 池田豊人



海区漁場計画の作成について（諮問）

このことについて、漁業法(昭和24年法律第267号)第64条第4項及び第86条第2項の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

1 漁業権に関する事項

- |                                   |              |
|-----------------------------------|--------------|
| (1) 漁場の位置及び区域                     | 別添海区漁場計画のとおり |
| (2) 漁業の種類                         | 別添海区漁場計画のとおり |
| (3) 漁業の名称及び時期                     | 別添海区漁場計画のとおり |
| (4) 存続期間                          | 2 存続期間のとおり   |
| (5) 区画漁業権については、<br>個別漁業権又は団体漁業権の別 | 別添海区漁場計画のとおり |
| (6) 団体漁業権については、<br>その関係地区         | 別添海区漁場計画のとおり |
| (7) その他必要な事項                      | 別添海区漁場計画のとおり |

2 存続期間

- (1) 第一種区画漁業のうち、藻類養殖業  
令和5年10月1日から令和10年9月30日まで
- (2) 藻類養殖業を除く第一種区画漁業及び定置漁業  
令和6年1月1日から令和10年12月31日まで
- (3) 共同漁業  
令和6年1月1日から令和15年12月31日まで

3 条件 別添海区漁場計画のとおり

4 保全沿岸漁場について なし



## 事務手続きスケジュール (予定)

### (1) 海区漁場計画の作成

令和4年8月：漁業免許方針（海面）

令和4年12月23日：海区漁業調整委員会（事前協議）

令和5年1月27日：海区漁業調整委員会（事前協議）

令和5年1月：海区漁場計画設定要望書提出（漁協→県）

令和5年3月：土木関係課への協議、関係機関との調整

令和5年3月10日から4月20日まで：利害関係人の意見徴収（県HP）

令和5年5月29日：香川海区漁業調整委員会へ「海区漁場計画案」

について諮問

令和5年6月30日：公聴会、海区漁業調整委員会 → 知事へ答申

公示（県HP※）、通知

### 免許予定日

○令和5年10月1日：区画漁業（藻類養殖業）

○令和6年1月1日：共同漁業、区画漁業（藻類養殖業以外）、定置漁業

### 免許申請期間

○令和5年7月1日から8月31日まで：区画漁業（藻類養殖業）

○令和5年10月1日から11月30日まで：

共同漁業、区画漁業（藻類養殖業以外）、定置漁業

## (2) 漁業の免許及び漁業権行使規則の認可

### ア 区画漁業（藻類養殖業）

令和5年7月：免許申請

漁業権行使規則の認可申請

令和5年9月：海区漁業調整委員会へ「免許の申請」について諮問

令和5年9月：海区漁業調整委員会 ⇒ 知事へ答申

令和5年10月1日：免許状交付・行使規則認可、公示（県HP）、通知

### イ 共同漁業、区画漁業（藻類養殖業以外）、定置漁業

令和5年10月：免許申請

漁業権行使規則の認可申請

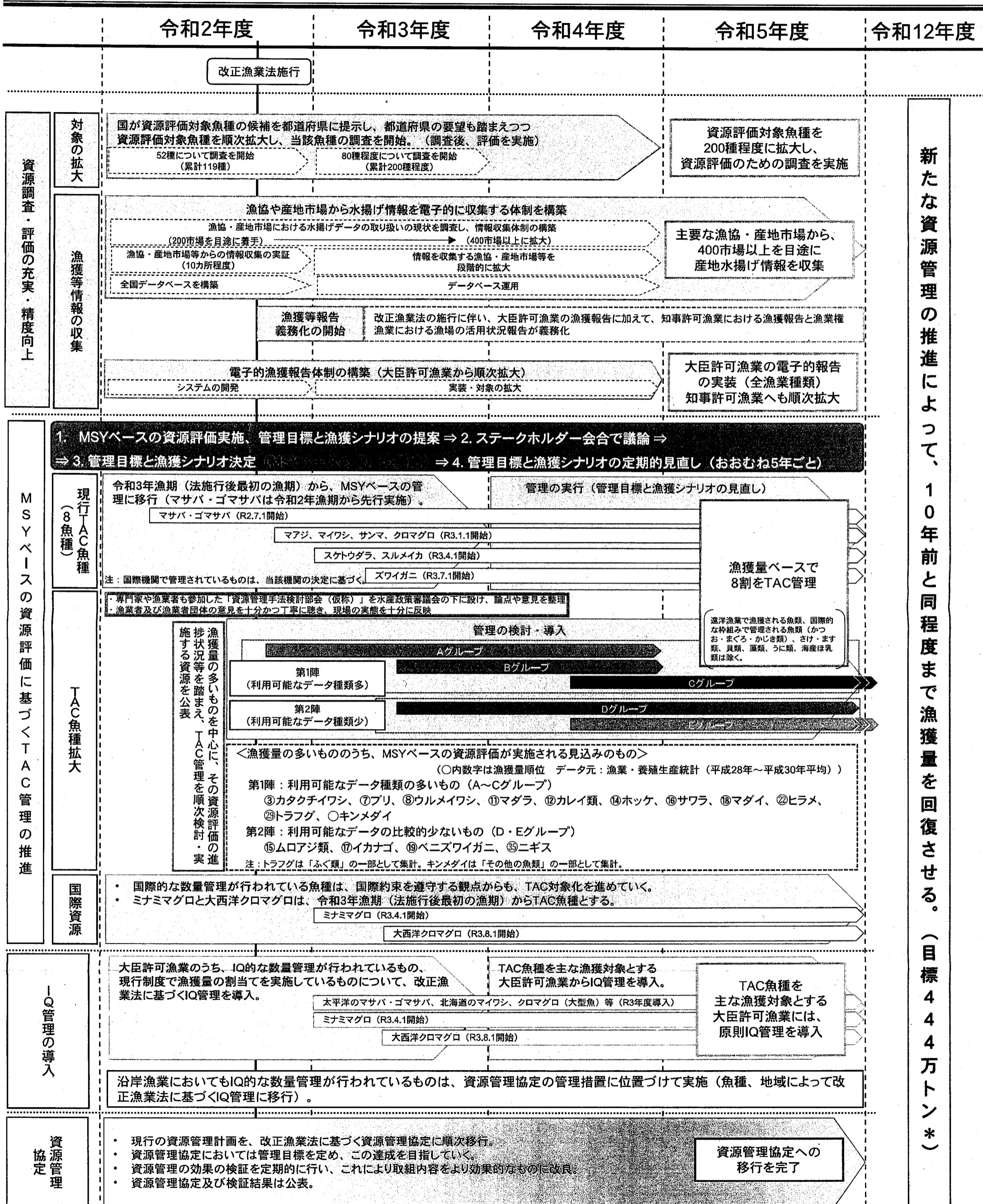
令和5年12月：海区漁業調整委員会へ「免許の申請」について諮問

令和5年12月：海区漁業調整委員会 ⇒ 知事へ答申

令和6年1月1日：免許状交付・行使規則認可、公示（県HP）、通知



# 新たな資源管理の推進に向けたロードマップ



新たな資源管理の推進によって、10年前と同程度まで漁獲量を回復させる。(目標444万トン\*)

新たな資源管理の推進にあたっては、関係する漁業者の理解と協力を得た上で進める。また、都道府県・関係機関との協力・連携の下に、スマート水産業等関係施策の進捗を図りながら、効率的に進めることとする。

\*農林水産省・地域の活力創造本部 (第28回) 「農林水産政策改革の進捗状況」

# TAC魚種拡大に向けたスケジュール

- 新たなTAC管理の検討は、以下の2つの条件に合致するものから順次開始する。
  - ① 漁獲量が多い魚種（漁獲量上位35種を中心とする）
  - ② MSYベースの資源評価が近い将来実施される見込みの魚種
- 専門家や漁業者も参加した「資源管理手法検討部会」を水産政策審議会の下に設け、論点や意見を整理。
- 漁業者及び漁業者団体の意見を十分かつ丁寧に聴き、現場の実態を十分に反映し、関係する漁業者の理解と協力を得た上で進める。

<漁獲量の多いものうち、MSYベースの資源評価が実施される見込みのもの>

第1陣：利用可能なデータ種類の多いもの（カタクチイワシ、イワシ、マダラ） 第2陣：利用可能なデータの比較的小さいもの（サワラ、Eグループ）

|           |                 | 令和2年度    | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度       | 漁獲量※                  |
|-----------|-----------------|----------|-------|-------|-------------|-----------------------|
|           |                 | 改正漁業法施行  |       |       |             | (現行TAC魚種)<br>累計 60.5% |
| カタクチイワシ   | 太平洋系群           | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             | 比率(累計)<br>6.1 (66.6%) |
|           | 対馬暖流系群          | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             |                       |
|           | 瀬戸内海系群          |          |       |       |             |                       |
| ブリ        |                 |          |       |       |             | 4.6 (71.2%)           |
| イワシ       | 対馬暖流系群          | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             | 3.2 (74.4%)           |
|           | 太平洋系群           |          | SH会合  | SH会合  | SH会合        |                       |
| マダラ       | 本州太平洋北部系群       | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             | 2.0 (76.4%)           |
|           | 本州日本海北部系群       | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             |                       |
|           | 北海道太平洋          |          |       |       |             |                       |
| カレイ類      | 北海道日本海          |          |       |       |             | 1.8 (78.2%)           |
|           | ソウハチ            | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             |                       |
|           | 日本海南西部系群        | 神戸チャート公表 | 説明会等  | 公表    |             |                       |
|           | ムシガレイ           |          |       |       |             |                       |
|           | 日本海南西部系群        |          |       |       |             |                       |
|           | ヤナギムシガレイ        |          |       |       |             |                       |
|           | 太平洋北部           |          |       |       |             |                       |
|           | サメガレイ           |          |       |       |             |                       |
|           | 太平洋北部           |          |       |       |             |                       |
|           | アカガレイ           |          |       |       |             |                       |
| 日本海系群     |                 |          |       |       |             |                       |
| ソウハチ      |                 |          |       |       |             |                       |
| 北海道北部系群   |                 |          |       |       |             |                       |
| マガレイ      |                 |          |       |       |             |                       |
| 北海道北部系群   |                 |          |       |       |             |                       |
| ホッケ       |                 |          |       |       |             |                       |
| 道北系群      |                 |          |       |       |             |                       |
| ムロアジ類東シナ海 |                 |          |       |       |             | 2.0 (79.2%)           |
| サワラ       | 瀬戸内海系群          |          |       |       |             | 0.9 (80.1%)           |
|           | 東シナ海系群          |          |       |       |             | 0.7 (80.8%)           |
| イカナゴ      | 瀬戸内海東部          |          |       |       |             | 0.7 (81.5%)           |
| マダイ       | 瀬戸内海中・西部系群      |          |       |       |             | 0.7 (82.2%)           |
|           | 日本海西部・東シナ海系群    |          |       |       |             |                       |
|           | 瀬戸内海東部系群        |          |       |       |             |                       |
|           | ベニズワイガニ         |          |       |       |             |                       |
| 日本海系群     |                 |          |       |       | 0.6 (82.8%) |                       |
| ヒラメ       | 瀬戸内海系群          |          |       |       |             | 0.3 (83.1%)           |
|           | 太平洋北部系群         |          |       |       |             |                       |
|           | 日本海北・中部系群       |          |       |       |             |                       |
|           | 日本海西部・東シナ海系群    |          |       |       |             |                       |
| トラフグ      | 日本海・東シナ海・瀬戸内海系群 |          |       |       |             | 0.2 (83.3%)           |
| トラフグ      | 伊勢・三河湾系群        |          |       |       |             | 0.1 (83.4%)           |
| キンメダイ     | 太平洋系群           |          |       |       |             | 0.1 (83.5%)           |
| ニギス       | 日本海系群           |          |       |       |             | 0.1 (83.5%)           |

- 公表：資源評価結果の公表、神戸チャート公表：過去から現在までの資源状況を表した神戸チャートを公表、検討部会：資源管理手法検討部会、SH会合：資源管理方針に関する検討会（ステークホルダー会合）、説明会等：必要に応じ、説明会等を実施（検討部会、SH会合、説明会等の開催スケジュールはイメージ。必要に応じ、複数回開催する。）
- 資源評価結果は毎年更新される。
- 資源評価の進捗状況によって、上記のスケジュールは時期が前後する場合がある。
- 令和5年度までに、漁獲量ベースで8割をTAC管理とする。  
(遠洋漁業で漁獲される魚類、国際的な枠組みで管理される魚類（かつお・まぐろ・かじき類）、さけ・ます類、貝類、藻類、うに類、海産ほ乳類は除く。)

※ データ元：漁業・養殖生産統計（平成28年～平成30年平均）

新たな資源管理の検討プロセス

|   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| ① | 資源評価結果の公表             |   |
| ② | 資源評価結果説明会             | 国より資源評価結果について説明   |
| ③ | 資源管理手法検討部会            | 参考人等からの意見や論点を整理   |
| ④ | ステークホルダー会合            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・③で整理された意見や論点を踏まえ、具体的な管理について議論</li> <li>・必要に応じ複数回開催し、管理の方向性をとりまとめ</li> </ul> |
| ⑤ | 資源管理基本方針の策定           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・④で取りまとめられた内容を基に、資源管理基本方針を作成</li> <li>・水産政策審議会への諮問・答申を経て決定</li> </ul>        |
| ⑥ | ステップアップ管理の開始? (ステップ1) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TAC報告の義務化</li> </ul>   |
| ⑦ | ステップ2                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配分の試行</li> <li>・ ステップ3に向けた管理の運用の検討</li> </ul>                              |
| ⑧ | ステップ3                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本格的なTAC管理の開始</li> </ul>  |

最長3年程度

既存TAC種

| 魚種     | 系群   | 本県への配          |
|--------|--|----------------|
| マイワシ   | 太平洋系群  | 現行水準           |
|        | 対馬暖流系群   | —              |
| マアジ    | 太平洋系群  | 現行水準           |
|        | 対馬暖流系群   |                |
| マサバ    | 太平洋系群  | 現行水準           |
|        | 対馬暖流系群   | —              |
| ゴマサバ   | 太平洋系群  | 現行水準           |
|        | 東シナ海系群   | —              |
| スケトウダラ | 日本海北部系群<br>根室海峡<br>オホーツク海南部<br>太平洋系群                   | —              |
| ズワイガニ  | オホーツク海南部<br>太平洋北部系群<br>日本海系群A海域<br>日本海系群B海域<br>北海道西部系群 | —              |
| スルメイカ  | 冬季発生系群<br>秋季発生系群                                       | —              |
| サンマ    |  | —              |
| クロマグロ  |  | 小型魚：0<br>大型魚：1 |

TAC候補種香川県関係系群

|                         | 資源評価結果<br>公表 | 検討部会             | 数量<br>管理※ | 検討部会<br>参考人 |
|-------------------------|--------------|------------------|-----------|-------------|
| ヒラメ瀬戸内海系群               | R3.12月<br>公表 | R4.2月<br>開催      | ○         | 嶋野会長        |
| マダイ瀬戸内海中・西部系群           | R3.12月<br>公表 | R4.4月<br>開催      | ×         | 嶋野会長        |
| カタクチイワシ瀬戸内海系群           | R4.9月<br>公表  | R4.11月<br>開催     | ○         | 嶋野会長        |
| マダイ瀬戸内海東部系群             | R4.12月<br>公表 | R5.6月12日<br>開催   | ○         | 嶋野会長        |
| サワラ瀬戸内海系群               | R4.12月<br>公表 | R5.6月12日<br>開催   | ○         | 嶋野会長        |
| イカナゴ瀬戸内海東部系群            | R4.12月<br>公表 | R5.5月22日<br>開催   | ○         | 嶋野会長        |
| トラフグ日本海・<br>東シナ海・瀬戸内海系群 | R4.12月<br>公表 | R5.7月21日<br>開催予定 | △         | 嶋野会長        |

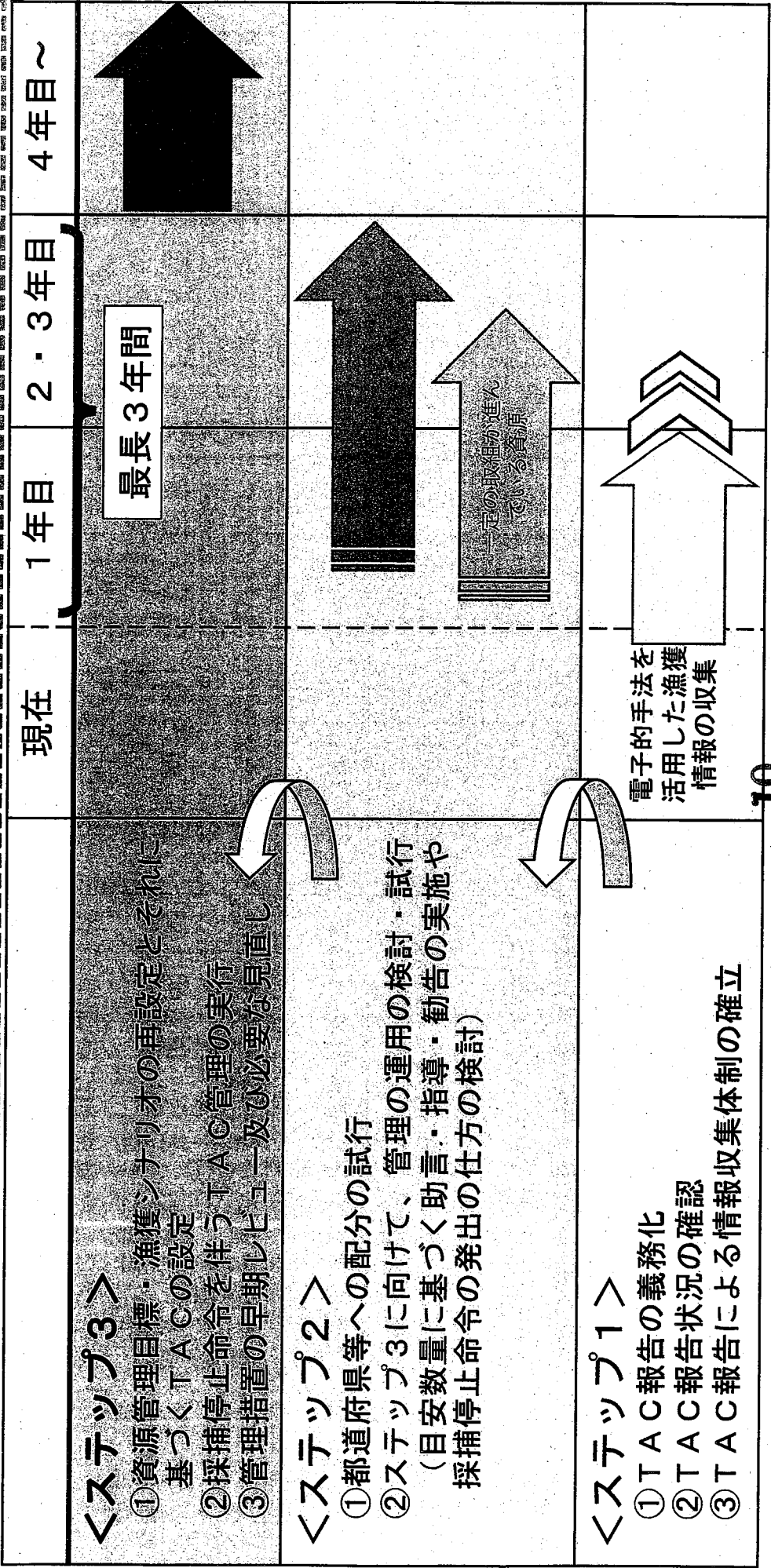
ブリについては全国1系群として管理を行う方針でTAC化の議論が進んで8割に含まれず現行水準となる  
わずかであるため、TACが導入された場合でも現行水準での管理となる。

香川県関係TAC候補種のTAC導入における解決すべき課題

| 系群                      | 解決すべき課題 |       |                   |                        |          |        | 自主的な取組みの評価 |   |
|-------------------------|---------|-------|-------------------|------------------------|----------|--------|------------|---|
|                         | 混獲漁業の扱い | 遊漁の扱い | 大幅な漁獲制限<br>に対する補償 | 資源の変動に対応できる<br>管理方策の検討 | 資源評価への反映 | 配分への考慮 |            |   |
| ヒラメ瀬戸内海系群               | ○       | ○     |                   |                        |          |        |            |   |
| マダイ瀬戸内海中・西部系群           | ○       | ○     |                   |                        |          |        |            |   |
| カタクチイワシ瀬戸内海系群           |         |       |                   | ○                      |          | ○      |            |   |
| マダイ瀬戸内海東部系群             | ○       | ○     |                   |                        |          |        |            |   |
| サワラ瀬戸内海系群               |         | ○     |                   |                        |          | ○      |            | ○ |
| イカナゴ瀬戸内海系群              |         |       | ○                 | ○                      |          |        |            |   |
| トラフグ日本海・<br>東シナ海・瀬戸内海系群 | ○       |       | ○                 |                        |          |        |            |   |

# TAC管理のステップアップの考え方及びスケジュール

- 新たなTAC魚種については、通常のTAC管理への移行までのスケジュールを明確に規定した上で、TAC管理導入当初は柔軟な運用とし、段階的に改良していく「TAC管理のステップアップ」を導入。
- 「TAC管理のステップアップ」の考え方及びスケジュールは「資源管理基本方針」に規定し、通常のTAC管理導入に向けたプロセスを確実にスケジュールどおり実施する。
- 具体的には以下の3つのステップに分けて進め、ステップ2までで基本的な調整を終了(最長3年間を想定)。



# TAC管理のステップアップの具体的内容

|                | ステップ1   | ステップ2  | ステップ3   |
|----------------|---|--|---|
| 資源管理の目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業法第12条第1項に基づく目標</li> <li>暫定的な目標（PGY）も併記。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに得られた情報を基に更新した資源評価に基づき設定</li> </ul>                              |
| 漁獲シナリオ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>資源管理の目標を達成する漁獲シナリオを選択</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな資源管理の目標に基づき漁獲シナリオ</li> </ul>                                      |
| TACの設定         | <ul style="list-style-type: none"> <li>漁獲シナリオから導かれるABCの範囲内で設定</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>  |
| TACの配分         | <ul style="list-style-type: none"> <li>各大臣管理区分及び都道府県には、配分量を「〇〇トン（注：TAC数量）の内数」とし、実質的に一括の管理とする。</li> <li>各管理区分で具体的に管理を行うための目安となる数量も示す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各管理区分への配分の試行を行う（自主的な資源管理の取組内容に応じた配分ルール等に基づく各管理区分の配分調整等を含む）。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>配分ルールに基づき、各管理区分へ配分を行う（漁獲量上位8割に含まれる場合は数量明示、それ以外は現行水準とする。）。</li> </ul> |
| 漁獲が積み上がった場合の対応 | <ul style="list-style-type: none"> <li>法第31条に基づく「漁獲量等の公表」や、法第32条に基づく「助言・指導・勧告」を行う。※</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ1の結果を踏まえ、「助言・指導・勧告」の内容を更新。※</li> <li>「採捕停止命令」の発出の仕方の検討を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ2までの結果を踏まえ、「助言・指導・勧告・採捕停止命令」を行うこととする。</li> </ul>                 |
| 自主的な資源管理       | <ul style="list-style-type: none"> <li>従前から行われている自主的な取組を引き続き実施しつつ、内容を整理し、その効果を検証する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な資源管理の効果を踏まえ、配分ルール等の管理の工夫に反映させる。</li> </ul>                       |

※ 漁獲実績を積み上げるために明らかに明らかなに漁獲努力量を増やしている等、TAC管理の趣旨に逆行するような操業が見られる場合には、より強力な対応を行う可能性は排除しない。